

# 2050年の地球と暮らし

## —環境技術と地球規模課題—

参加費  
無料

日時 平成27年11月10日(火) 12:00~18:00

会場 一橋大学 一橋講堂 (学術総合センター内)

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

参加登録 <https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/> 事前申込制(先着順)

お問合せ 環境研究機関連絡会 事務局  
国立大学法人筑波大学  
〒305-8577 つくば市天王台1-1-1 TEL: 029-853-2935 FAX: 029-853-6011



【アクセス】  
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9出口から徒歩3分  
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口から徒歩4分

### 講演 <13:00~17:05>

- 1 地域的な気候の変化をどうやって求めるか?  
国土交通省気象庁気象研究所 環境・応用気象研究部 部長 高数 出
- 2 都市気候とエネルギー需要の将来予測  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境管理研究部門 大気環境動態評価研究グループ 研究員 高根 雄也
- 3 沿岸環境予測モデル「伊勢湾シミュレーター」の開発  
国立研究開発法人港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域 海洋環境情報研究チーム チームリーダー 井上 徹教
- 4 豊かな海を育む藻場 ~実態と回復~  
国立研究開発法人水産総合研究センター 研究推進部 研究開発コーディネーター 桑原 久実
- 5 2050年の食料生産変動予測に向けて  
国立研究開発法人農業環境技術研究所 大気環境研究領域 上席研究員 西森 基貴
- 6 2050年に向けて環境技術を評価する  
国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員 芦名 秀一
- 7 住宅・建築物における水利用技術に関する考察  
国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ長 山海 敏弘
- 8 循環型社会の実現を目指したナノセルロース材料利用技術  
国立研究開発法人森林総合研究所 バイオマス化学研究領域 研究員 藤澤 秀次
- 9 頻発する世界の洪水に対する対策(インダス川を例として)  
国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)水災害研究グループ 上席研究員 加本 実
- 10 2050年の暮らしに向けたインフラストックの機能向上  
国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部 水環境研究官 福濱 方哉
- 11 水素エネルギーが作る未来社会  
国立大学法人筑波大学 システム情報系 教授 石田 政義

### ポスター発表(約100題) <12:00~12:45 / 17:15~18:00>

主催: 環境研究機関連絡会

国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人物質・材料研究機構 国立研究開発法人農業環境技術研究所 国立研究開発法人森林総合研究所  
国立研究開発法人水産総合研究センター 国立研究開発法人産業技術総合研究所 国土交通省気象庁気象研究所 国土交通省国土技術政策総合研究所  
国立研究開発法人建築研究所 国立研究開発法人港湾空港技術研究所 国立研究開発法人土木研究所 国立研究開発法人国立環境研究所 国立大学法人筑波大学